

山口県

障害者雇用 好事例集



目次 CONTENTS

1. 有限会社リベルタス興産	2
(宇部市／印刷・清掃業)	
2. ユーエムジー・エービーエス株式会社	4
(宇部市／化学工業)	
3. 社会福祉法人山口県コロニー協会	6
(防府市／第1種・2種社会福祉事業)	
4. 山口金属曲板工業株式会社	8
(山口市／金属製品製造業)	
5. 医療法人新生会	10
(岩国市／医療介護業)	
6. 社会福祉法人暁会	12
(下関市／第1種社会福祉事業)	
7. 下関一般廃棄物協同組合	14
(下関市／一般廃棄物処理)	
8. 社会福祉法人同朋福祉会	16
(美祢市／第1種・2種社会福祉事業)	
9. 宇部流通サービス株式会社	18
(宇部市／パレット及び物流機器の販売・レンタル)	
10. 山口県厚生農業協同組合連合会	20
(山口市／医療業)	
11. 大林産業株式会社	22
(山口市／木材・木製品製造業)	
12. 社会福祉法人萩市社会福祉事業団	24
(萩市／第1種・2種社会福祉事業)	
13. 深川養鶏農業協同組合	26
(長門市／食品製造)	
14. 山口日産自動車株式会社	28
(山口市／自動車の販売・整備)	
15. 株式会社ファーストリテイリング<株式会社ユニクロ>	30
(山口市／持株会社<衣料品の商品企画・生産・物流・販売業>)	

本事例集は「やまぐち障害者雇用推進企業」*
として、認定された企業の取組みを紹介する
ものです。 (※巻末参照)

URL <http://www.ube-ind.co.jp/libertas/>

■ 所在地：宇部市東見初町525-110

■ 電話番号：0836-35-7878

■ 常時雇用労働者数：33人

■ 障害者雇用数：48人



■ 障害者雇用の経緯・考え方

宇部興産（株）の子会社として平成3年に設立、障がいも個性のひとつと捉え、「個性を生かす」ことで、当たり前前に働き・生活していける地域づくりへの貢献を目指します。このために、当社に蓄積された知識やノウハウをグループ会社および地域企業に積極的に提供し、安心感を持った障がい者雇用の推進を図っています。

■ 障害者雇用推進の取組

助成金の活用

- ・ トライアル雇用
- ・ 特定求職者雇用開発助成金
- ・ 重度障害者多数雇用事業所施設設置等助成金
- ・ 職業コンサルタントの配置助成金
- ・ 障害者作業施設設置等助成金(第2種)

・ 業務遂行援助の配置助成金

・ 手話通訳担当者の委嘱助成金

障害者の態様に応じた多様な委託訓練の活用

・ 社会適応訓練事業所登録

・ 精神障害者訓練生受入

■ 雇用継続の取組

人的支援としての配慮

- ・ 専任手話通訳者(2名)の配置および手話勉強会
- ・ 社内ケア会議(月1回)
- ・ 障害者職業生活相談員資格認定者(9名)
- ・ 知的障害者の家族連絡会議開催(年2回)
- ・ ジョブコーチ制度の利用
- ・ 関係機関とのネットワーク

設備面の整備

- ・ 社屋全体バリアフリー化
- ・ 屋根付き駐車場・渡り廊下
- ・ 聴覚障害者への緊急通報用非常用点滅赤ランプの設置
- ・ 印刷機等への赤色灯の設置

■ 独自の取組

- ・ 障害者就労支援アドバイザー
- ・ 宇部市障害者就労支援ネットワーク会議(企業部会事務局)
- ・ 障害者が働く施設への発注(共同受注システム利用)

・ 職場実習生の受入

・ 職場見学の受入

・ 講演活動

上記は、原則として事業主から提出された認定申請書の記載内容となっています。

① 企業概要

宇部興産の特例子会社として障害のある人のために設立



同社は、平成3年4月に障害者の雇用を目的とする宇部興産の特例子会社*として設立。「障害があるから特別なのではなく、障害があっても当たり前、障害は才能を発揮する妨げにはならない」との基本的観点から企業活動を行っている。事業内容は、名刺、挨拶状、事務用印刷物、医療関係印刷物、カタログ、ポスター、刊行物などの各種印刷業務・デジタル化業務、清掃業務を行っている。

*特例子会社

事業主が障害者の雇用に配慮をした子会社を設立し、一定の要件を満たす場合に、特例としてその子会社に雇用されている障害者を親会社に雇用されているものとみなして雇用率を算定できる制度。

② 障害者の従事する業務の内容

配慮するが特別扱いはせず全工程で障害者が従事

データ制作を行うデジタルチームと、製版・印刷・製本・仕上げを行う製作チームがある。デジタルチームでは、障害者対応マウス、パソコン音声入力ソフトなどの機器を導入して、入力やデータ作成などのデジタル業務をこなしている。製作チームでは、聴覚障害者のために機械に赤色ランプを取り付け、稼働中は点灯するようにしていたり、専任手話通訳者を通して責任者の指示を作業者に伝えたりしている。社員のうち6～7割が障害のある人だが、「できることをやればいい、できないことは配慮する」の考えのもと、同社では特別扱いをしていない。



③ 職場内での工夫・改善点

就労環境や設備のハード面だけでなくソフト面での配慮もしっかりと

就労環境や施設(ハード面)の配慮として、至るところに工夫・改善がされている。2m幅の手すり付き廊下、床レールの無い吊り下げ扉、聴覚障害者のための非常用点滅赤ランプ、廊下の曲がり角にカーブミラー、駐車場から通用口への屋根付き渡り廊下など、数えればキリがない。社員から不便という意見や問題点が挙げられれば、その都度、就労環境の改善をしている。

ソフト面での配慮として、専任手話通訳者の配置や手話勉強会の実施、9名の障害者職業生活相談員資格認定者、月1回の職場定着推進会議の実施などが挙げられる。



廊下の曲がり角の向こうが見えるようにカーブミラーを設置

④ 職場内を見学

デジタルチーム
入力やデータ作成を行う。車椅子の人も多く働いている。



障害者対応マウス
ボタンを押すことで通常のマウスと同じように操作ができる。



機械に赤色ランプ
機械の稼働中は赤色ランプが点灯。聴覚に障害があっても、目で見て稼働していることが分かる。



聴覚障害者には手話で伝達
責任者の指示を専任手話通訳者が手話で伝えている。



URL <http://www.umgabs.co.jp/>

■ 所在地：宇部市大字沖宇部字沖の山525-14

■ 電話番号：0836-22-4511

■ 常時雇用労働者数：428人

■ 障害者雇用数：10人



■ 障害者雇用の経緯・考え方

働く人と環境にやさしく、地域とともに成長する企業を目指し、障がい者の人格、個性を尊重するとともに、ゆとりと豊かさのある障がい者雇用の推進を図っています。

■ 障害者雇用推進の取組

特定求職者雇用開発助成金(2007年～2010年)
 試行運用(トライアル雇用)奨励金(2007年)

■ 雇用継続の取組

ジョブコーチ制度の利用
 障害者職業生活相談員資格認定者3名
 山口障害者職業センターへの相談等
 障害者用トイレ棟新設(男女)(2007年7月)

■ 独自の取組

山口養護学校実習生受入(2007年6月18～29日)
 宇部総合支援学校実習生受入(2008年10月20～31日)

上記は、原則として事業主から提出された認定申請書の記載内容となっています。

① 企業概要

家電、建材などに使われる ABS樹脂ペレットを製造



同社は、2002年に宇部サイコン株式会社と三菱レイヨン株式会社のABS樹脂事業を統合して設立された宇部興産のグループ会社である。宇部工場では、アクリロニトリル、ブタジエン、スチレンから作られる合成樹脂「ABS樹脂」ペレットやパウダーを製造している。ABS樹脂は、自動車の内装部品や家電製品、住宅建材、OA製品やゲーム機に使われており、生活に身近な製品へと姿を変えている。同社では、日本で最初にABS樹脂の生産販売を始めて以来、ABS樹脂の持つ優れた特性・品質を限りなく追求している。

② 障害者の従事する業務の内容

情報入力や郵便物の配布など総務関係のさまざまな業務をこなす

総務・人事部では、聴覚障害者と知的障害者の2人が働いている。聴覚障害者は、人事台帳システムへの情報入力、支払・入金システム入力、郵便・回覧物の配布、郵便料金の管理など、入力業務をメインに日々の業務を行っている。知的障害者は、ミーティング内容の記録、生活排水ポンプ点検、安全パトロール、役員弁当準備、来客へのお茶出し、社内メール便の配布などを行っており、来客時の受付対応や電話もなるべく対応するようにしている。工場部門には、在職中の病気やケガにより障害のある人も継続して働いている。



③ 職場内での工夫・改善点

それぞれの障害に合わせたちょっとした工夫でスムーズに伝達

聴覚障害者には、ホワイトボードを用意して筆談したり、会話が読み取りやすいように口の動きを大きくして話したり、復唱で理解できたか確認するようにして、上手く指示が伝わるように工夫している。知的障害者には、何をいつまでにどうするのかを簡潔明瞭に指示するようにしている。意思疎通がスムーズにできるようにさまざまな工夫をしているが、それ以外は普通の社員と同じように接しており、特別扱いをしていない。

工場全体の改善点としては、障害者用の駐車場を設け、建物入り口にはスロープ、敷地内に身障者用トイレ棟を新設した。



ホワイトボードに書いて聴覚障害者に指示を出す

④ 就労者の一日

聴覚障害者のモデルケース

入力業務
人事台帳システムへの情報入力、勤怠システムエラー等のチェックなど。



郵便物の配布
郵便物や回覧物を各部署のボックスに振り分ける。



休憩
昼休みなどの休憩時には社内の女性社員と一緒に談笑。



点検業務
生活排水ポンプの点検や安全パトロールをすることも。



URL <http://www.ycolony.or.jp/>

■ 所在地：防府市大字台道522番地

■ 電話番号：0835-32-0069

■ 常時雇用労働者数：77人

■ 障害者雇用数：43人



■ 障害者雇用の経緯・考え方

身体障害者で相当の技術及び生産能力等を身に付け作業能力はあるが職場環境や通勤時の事情等により一般企業に雇用されることが困難な人を雇用しています。

■ 障害者雇用推進の取組

平成20年9月～21年8月まで重度身体障害者2人の特定求職者雇用開発助成金を活用しました。上記2人に対してトライアル雇用奨励金も活用しました。

■ 雇用継続の取組

勤務時間について本人が勤務しやすい時間帯になるよう時間の配慮を行いました。

■ 独自の取組

- ・ 総合支援学校等の職場実習を行っています。
- ・ 障害者の職場見学は事前連絡の後お受けしています。
- ・ 障害者施設間で仕事のやりとりを行っています。

上記は、原則として事業主から提出された認定申請書の記載内容となっています。

① 企業概要

山口コロニーキャンパス

山口コロニーワークセンター

ワークショップ・山口の3事業で障害者の自立を目指す



同協会は、山口コロニーキャンパス、山口コロニーワークセンターとワークショップ・山口によって構成されている。ワークショップ・山口は障害者の就労支援の場として印刷事業コロニー印刷を営んでおり、作業能力はあるが職場環境や通勤時の交通事情により、一般企業に雇用されることが困難な人を対象に雇用している。葉書・名刺・チラシ・パンフレット・頁物等各種印刷物の製造を行う。最新のコンピュータシステム、高度なプリンティングシステムを駆使し、強力なディレクションスタッフと機動力あふれるオペレーションスタッフにより、お客様のニーズに応える、より良い製品作りに努めている。

② 障害者の従事する業務の内容

印刷物ができるまでの全ての部署で障害者が従事

データ入力、印刷データの作成、編集作業などを行う制作部門では、パソコンを使ったデスクワーク業務が中心となるため、車椅子の人が多く従事している。音声入力ソフトを使って、音声による入力業務を行うこともあるという。製版部門では製版機材を使って印刷用の版面を作っている。印刷部門ではオペレーターがオフセット印刷機でチラシ・冊子などの印刷や、小型の印刷機で封筒などを印刷する業務を行っている。

製本・仕上げ部門では、紙を折るための折り機を操作したり、搬出のため出来上がった製品を数えたりする作業などを行っている。各部門に聴覚障害者や身体障害者が従事しており、さまざまな業務をこなしている。



③ 職場内での工夫・改善点

エレベーターやスロープなど 至るところでバリアフリーに配慮

2階、3階建ての建物が数棟あるため、各棟にエレベーターを設置している。建物と建物の間にも渡り廊下を設け、車椅子でも自由に建物間を往来できるようになっている。スロープや渡り廊下の屋根など、敷地内の至るところでバリアフリーに配慮している。通勤が困難な人のために敷地内に宿舍も備えているほか、送迎サービスも行っている。社内売店、給食もあり、移動するのが困難な人でも敷地内である程度のことは済ませられるように設備を整えている。



各棟にエレベーターが設置されている

④ 職場内を見学

制作部門

データ入力、印刷データ作成、編集作業などを行っている。



製版部門

印刷データから印刷機にセットする版面を作っている。



印刷部門

オフセット印刷機でチラシ、ポスターなどを印刷している。



製本・仕上げ部門

数を数えたり、揃えたりして、搬出している。



■ 所在地：山口市小郡上郷3530番地1

■ 電話番号：083-973-0700

■ 常時雇用労働者数：118人

■ 障害者雇用数：17人



■ 障害者雇用の経緯・考え方

経営者として、障害者雇用に積極的に取り組む思いで受け入れてきました。障害のある方も、設備や環境を整え、しっかりと教育を行えば十分に仕事ができることがわかりました。

■ 障害者雇用推進の取組

—

■ 雇用継続の取組

—

■ 独自の取組

山口南総合支援学校へ実技授業用としてテープ貼り作業の部材を提供
作業完成品はそのまま部材として使用
定期的(年1~2回)に職場実習を受入(1~2週間)/回

上記は、原則として事業主から提出された認定申請書の記載内容となっています。

① 企業概要

県内4工場を生産拠点に 構造体・外壁などの建材部品を製造



山口金属曲板工業(株)陶工場

同社は、関連会社の株式会社山金工業も併せて、陶工場、美東工場、小郡工場など山口県内4工場を生産拠点に、大手ハウスメーカーに向けて建材部品を供給している。

山口市陶にある陶工場では、軽量鉄骨建造物の構造材やジョイント部材の小物部品を主に製造している。製造工程は、鉄骨部材のプレス加工、溶接加工、レーザー加工がある。同工場では、高速、高精度加工が可能な最新鋭のレーザー加工機を所有しており、多品種小ロット化が求められる状況でも様々な要望にきめ細かく対応している。

② 障害者の従事する業務の内容

溶接部門、プレス工程で知的障害者が従事

陶工場では、知的障害者8人が働いている。業務内容は、溶接した鉄骨材の付着物を除去する「スパッタ取り」、鉄板に穴開け加工をする「プレス」、リベットを機械で打ってビスで留める「カシメ」と呼ばれる作業を行っている。レーザー加工機でカットした部材を取り出す作業を行うこともある。作業を教える場合は、まず実際に見せて教えた後に、一番理解できるリーダー格の人に詳しく教えることで効率化を図っている。



③ 職場内での工夫・改善点

危険が多い工場だからこそ 事故が起きないように あらゆる工夫を

溶接工程では、熱い鉄の破片が飛んだり、粉塵が発生したりするため、作業着には特に配慮している。障害者には、ヘルメット、マスク、耳栓、メガネをしてもらい、安全に作業できるように工夫している。

プレス工程は、機械により110トンもの力がかかるため、誤って手を入れると大変危険である。そのため、アクリル板で機械に囲いをし、センサーを取り付けることで手を機械に向かって伸ばすと停止するよう改善した。健常者の目線では大丈夫だと思いがちな部分でも、万が一、誤って事故が起きることがないように細心の注意を払っている。



プレス機械に手が入る事故を防ぐため、アクリル板で囲んでセンサーを取り付けている

④ 職場内を見学

スパッタ取り
溶接時にできたスパッタを鉄骨材から取り除く。



プレス
穴を開けるプレス機械に鉄板を供給する。



カシメ
機械でリベットを吸い寄せ、ビスで留める。



レーザー加工
レーザー加工機でカットした部材を取り除く。



URL <http://www.i-shinseikai.or.jp/>

■ 所在地：岩国市多田3丁目101-5

■ 電話番号：0827-44-0700

■ 常時雇用労働者数：294人

■ 障害者雇用数：8.5人



■ 障害者雇用の経緯・考え方

当法人は医療・介護を業としており、障害者であるケアマネージャー、マッサージ師の有資格者が職場で有効に機能しており、その観点からも今後障害者雇用を継続的に実施することとしています。

■ 障害者雇用推進の取組

トライアル雇用奨励金の活用

■ 雇用継続の取組

- ・勤務時間の配慮
- ・通勤への配慮

■ 独自の取組

—

上記は、原則として事業主から提出された認定申請書の記載内容となっています。

① 企業概要

岩国市を中心に、質の高い医療・介護サービスを提供



同会は昭和33年に設立され、岩国市を中心に古くから地域の方々に支えられてきた。現在は、「いしい記念病院」(岩国市多田)を核に在宅支援、社会復帰施設、老人保健施設、在宅支援診療所など、岩国市や広島市、大竹市に医療・介護施設を展開している。平成22年3月には広島市に小規模多機能型居宅介護施設「さくらんぼのおうち」、同年4月に岩国市内に「スマイルさくら」を新たにオープンした。

同法人の各施設では、“利用者”ではなく“お客様”として捉え、質の高い医療サービスと介護サービスを提供している。お客様とご家族の希望に沿った、心に寄り添うやさしい医療と介護の実現を目指している。

② 障害者の従事する業務の内容

病院内の文書をパソコンで作成 他部署からの依頼も

いしい記念病院で勤務する20代の女性は、会話や身体に不自由な面が見られるが、パソコンを使った事務補助業務に従事している。行事予定表の作成、胃ろう回診の日程管理、様式の作り替えなど、病院内で使う書類をパソコンで作成している。他の部署から頼まれることもあり、書類作成や管理を任せられる貴重な存在となっている。

同病院ではそのほか、他の職員と同様に常勤職員として入院患者の入浴介助やトイレ誘導などの介護補助業務を行ったり、病院内の清掃や環境整備に従事している。



③ 職場内での 工夫・改善点

それぞれの障害に応じて 各職場で働きやすいように工夫

足に障害のある肢体不自由者には、駐車スペースを建物から近い場所に優遇したり、パソコンを使う障害者は作業をしやすいように専用スペースを確保するといった細やかな配慮・工夫を、個々の障害や仕事内容に応じて実施している。

業務についての指導や指示は、会話に支障のない障害者が多いので、健常者と同じように行っている。ただ、障害があるため体力的に疲れやすいこともあるので、体調管理に気遣い、無理をさせないようにしている。

病院や介護の施設なので、廊下を広く設計したり、手すりを設置したりというハード面の環境も整えている。



無理をさせないように体調管理に配慮している

④ 就労者の一日

脳性麻痺者のモデルケース

書類作成
手書きの原稿をパソコンの表計算ソフトで清書する。



書類のチェック
作成した書類をプリントアウトして確認する。



日程表を渡す
回診の日程表を看護職員に渡す。日程管理も行う。



所属長から指示
意思疎通がしづらいときは、パソコンに文字入力して画面でやりとりすることも。



URL <http://www.akatsukikai.com>

■ 所在地：下関市大字小野64番地の1

■ 電話番号：083-256-5336

■ 常時雇用労働者数：308人

■ 障害者雇用数：8人



■ 障害者雇用の経緯・考え方

以前から障害者雇用に積極的に取り組んでいたところ、地域の総合支援学校から実習の受入の依頼があったことがきっかけとなりました。障害の内容を考慮すれば、十分に仕事ができることがわかりました。

■ 障害者雇用推進の取組

平成20年4月～平成21年3月まで、特定求職者雇用開発助成金を活用しました。

■ 雇用継続の取組

障害者就業・生活支援センターに必要に応じ障害者に応じた仕事内容について相談し助言をいただきました。

■ 独自の取組

平成20年11月に下関総合支援学校の職場実習を受入れました。

上記は、原則として事業主から提出された認定申請書の記載内容となっています。

① 企業概要

高齢者、障害者、児童福祉に取り組み 地域の医療福祉に貢献



同会は平成8年に設立され、翌年に下関市小野地区に特別養護老人ホーム「フェニックス」を開設。現在、特別養護老人ホーム、グループホーム、ケアハウスなど20施設を運営し、支援を必要とする人たちが安心して生活できるように各種サービスを提供している。

- フェニックス(下関市小野)／特別養護老人ホーム フェニックス、障害者支援施設 フェニックス、フェニックスデイサービスセンター、フェニックス在宅介護支援センター、フェニックスヘルパーステーション、グループホーム フェニックスの里
- あかつき(下関市汐入町)／ケアハウス あかつき、あかつきデイサービスセンター、グループホーム あかつきの里
- 大平の家(下関市大平町)／小規模多機能施設 大平の家
- やはず苑(防府市江泊)／養護老人ホーム やはず苑、重度心身障害者(児)施設 なごみの家、やはず居宅介護支援事業所、やはず訪問介護事業所
- たんぼぼ／たんぼぼ居宅介護支援センター(下関市山の田東町)、たんぼぼホームヘルパーステーション(同)、小規模多機能施設 たんぼぼの家(下関市山の田中央町)
- リトルスター(下関市)／24時間託児所 リトルスター下関・シーモール・長府
- 住宅型有料老人ホーム フォーシーズンズ長府(下関市長府才川)

② 障害者の従事する業務の内容

マッサージ師から介護補助まで福祉施設内のあらゆる場所で雇用

「フェニックス」に5名、「あかつき」に1名、「やはず苑」に1名の障害者が従事している。

そのうち、ほぼ全盲の視覚障害者2名は、特別養護老人ホームの入居者に対してマッサージを提供するマッサージ師として働いている。

そのほか、手指欠損の障害がある人は送迎や介護などデイサービスの補助業務を行ったり、知的障害者・精神障害者は介護補助の業務に従事していたり、調理員や理学療法士として働く視覚障害者もいる。



③ 職場内での工夫・改善点

障害者を特別扱いしないでサポートを求められれば援助

福祉施設なので、手すりやスロープ、エレベーター、吊り下げ扉、幅広い廊下など、元々バリアフリーに配慮した建物になっており、ハード面での障害は解消されている。ほぼ全盲の視覚障害者を雇用していることから、エレベーター付近のパネルには点字を併用する工夫をしている。

障害者を雇用しているという意識を持たずに障害者と健常者を対等に扱う考え方から、雇用するにあたってのソフト面での工夫・改善点は特に行っていない。仕事をする上で求められることには援助が必要以上のことはしないというスタンスで、自立して働くことができるようにしている。



全盲の視覚障害者のため点字パネルを設置

④ 就労者の一日

視覚障害者のモデルケース

マットマッサージ
利用者の身体をマッサージして、筋肉をほぐす。



休憩
昼食を食べながら、職員とコミュニケーションをとる。



車椅子マッサージ
利用者が車椅子に座った状態でマッサージを行う。



業務の記録
1日の業務内容を日誌に記入して、終了。



■ 所在地：下関市長府扇町6番46号

■ 電話番号：083-248-4319

■ 常時雇用労働者数：26人

■ 障害者雇用数：7人



■ 障害者雇用の経緯・考え方

平成16年に下関市長府扇町工業団地に資源リサイクルの工場を設置し操業開始したところ、市内の障害者施設より就労の依頼や実習の受け入れの依頼が多くあり、現在多数の障害者を受け入れています。これからも出来る限りの努力を続けるつもりです。

■ 障害者雇用推進の取組

- ・平成16～21年までトライアル雇用奨励金を活用しました。(3名)
- ・平成17～19年まで特定求職者雇用開発助成金を活用しました。(1名)
- ・平成21年度に県立西部高等産業技術学校より、障害者職業訓練「実践能力習得科」の委託訓練を行いました。(1名)

■ 雇用継続の取組

- ・作業環境の改善を図るために山口県健康福祉部障害者支援課による障害者職場実習設備等整備事業費補助金を受け、作業場を設置しました。
- ・また、同じく作業環境の改善を図るために、社団法人山口県雇用開発協会による作業施設設置等助成金を受け作業場を設置しました。

■ 独自の取組

- ・平成16年より下関市リサイクルセンター（下関市長府扇町6-46自社工場内）において、市内障害者施設（大藤園・安岡苑）より職場実習生を1日あたり10名から20名程度受け入れています。
- ・平成18年より下関市リサイクルプラザ（下関市古屋町 市の施設、市より業務委託）において、市内障害者施設（なごみの里）より1日あたり6名から10名の職場実習生を受け入れています。

上記は、原則として事業主から提出された認定申請書の記載内容となっています。

① 企業概要

古紙を回収、分別、圧縮して 資源としてリサイクル



同組合は、平成9年に一般廃棄物・産業廃棄物収集運搬業者が中心となり、リサイクル事業を行うことを目的に協同組合を設立。平成16年にリサイクル工場として長府扇町工業団地内に「下関市リサイクルセンター」を開設した。同センターでは、スーパー・企業・病院・学校・自治会・子供会などから出された古紙類を回収し、選別、圧縮、梱包して、製紙会社に売却している。

下関市から同組合が業務委託を受けている「下関市リサイクルプラザ(しものせき環境みらい館)」でも、資源ごみからペットボトルやプラ容器・ビン・カンなどを分別し、リサイクルを行っている。

② 障害者の従事する業務の内容

古紙を手作業で分別 回収の手伝いも

下関市リサイクルセンターで常勤として働いているのは、知的障害者4名でグループホームから毎日バスで通勤している。業務内容は、回収した古紙をダンボール、雑誌、新聞に手作業で選別して、ベルトコンベアーに流すこと。古紙はベルトコンベアーを流れて、プレス機によって圧縮され、1トンもの古紙の塊になる。他のスタッフと一緒にトラックに乗り、古紙回収の手伝いに行くこともある。同センターで働く障害者は、「毎日働くのが楽しい」と誰もが生き生きとしている様子が見られる。



③ 職場内での 工夫・改善点

可能な仕事は何なのか見極め 「待つ」姿勢に徹する

その人のできる能力を認めて、できる仕事は何なのかを考えるようにして適正な仕事の分量としている。一緒に仕事をする従業員が、その人の「できる能力」を理解していないと、業務は上手くまわらない。「なぜできないのか」という気持ちを持つのではなく、「待つこと」が大切だという考えで長い目で見守っている。

下関市リサイクルセンターは、障害者ができることをメイン業務に開設した。障害者が働き、企業が儲かり、環境にも貢献できるという良い循環が生まれている。同センターで処理した資源を売ることでお金が入り、新たに機械を導入して仕事の量を増やすことができれば、雇用する障害者の数も増やすことができるという相乗効果を狙い、いずれは下関市のゴミを全てリサイクルして、エコと障害者雇用を両立することが目標である。

④ 職場内を見学

回収された古紙
古紙でこの倉庫がいっぱいになることも。



選別
雑誌、新聞などを手作業で選別する。



プレス機
ベルトコンベアーに乗って流れた古紙は圧縮されて出てくる。



古紙の塊
1個で1トンもの重さになる。



URL <http://f-doho.com/>

■ 所在地：美祢市於福町上4017-1番地

■ 電話番号：0837-56-1171

■ 常時雇用労働者数：182人

■ 障害者雇用数：19人



■ 障害者雇用の経緯・考え方

平成18年10月、障害がある人への就労機会の提供や生産活動に関する知識、能力の向上を目指し、就労継続支援A型事業「きっちんセンターともの園」を開設し、平成20年3月知的障害者授産施設「あそかの園」新体系移行により障害者支援施設「あそかの園」を開設し、就労継続支援事業B型・就労移行支援事業を開始しました。

■ 障害者雇用推進の取組

障害者の態様に応じた委託訓練（実践能力習得科）を活用し2名とも就職（法人事業所雇用）
重度の聴覚・言語障害者を技能訓練支援員として雇用し、工賃アップを実現

■ 雇用継続の取組

—

■ 独自の取組

「ライプリーあそかの園」「きっちんセンターともの園」「あそかの園」の利用者の職場見学、職場実習などを受入

上記は、原則として事業主から提出された認定申請書の記載内容となっています。

① 企業概要

老人・障害・児童福祉、医療、
各サービスを総合的に提供



指定障害者入所支援施設「ライプリーあそかの園」

同会は平成5年5月に設立。美祢市於福で、老人福祉サービス、障害福祉サービス、児童福祉サービス、医療サービスの提供を行っている。地域に開かれた明るい施設を目指して、利用者の年齢や心身の状況に合わせて、関連するサービスとの連携を図りながら総合的な援助を提供している。

特別養護老人ホーム「みのり園」、指定障害者入所支援施設「ライプリーあそかの園」、就労継続支援A型事業「きっちんセンターともの園」、就労継続支援B型・就労移行支援事業所「障害者支援施設あそかの園」などがある。

② 障害者の従事する業務の内容

できるだけ多くの障害者が働ける幅広い業務を確保

指定障害者入所支援施設「ライプリーあそかの園」では、知的障害者の男性が支援員として働いている。利用者の風呂の介助、部屋の清掃、食事の介助、洗濯など、生活に関する身の回りの世話をを行っている。障害者が障害者を支援するのは、対健常者よりも理解し合うことができるためなのか、支援が上手く進むケースが多い。

また、障害者に就労機会を提供する就労継続支援A型事業として開設した「きっちんセンターとももの園」では、雇用契約を交わし、同会の施設への食事、仕出し・弁当の製造業務に従事している。

同会では、多くの障害者が働けるようにケアグループとして幅広い業務を確保している。



③ 職場内での工夫・改善点

どの職場にも障害者を配置
相手と向き合ったサポートを実施

運営している施設が多岐に渡っているが、どの職場でも障害者が働いている。どこに障害者が配置されても、他の職員は状況に合わせた対応とサポートができるよう身に付けているので、問題なくやっていけるという。

また、同会の中で障害者が働く場所が多いため、この仕事をやってもらって無理だと分かったら、別の部署の仕事をしてもらうというように就労内容を変えていきながら、可能な仕事を探すことができる。障害の程度によってできることがそれぞれ違うので、就労内容も幅広くないといけない。ケアグループだからこそ、障害者雇用の受け皿が広くできるのである。



他の職員が親身にサポート

④ 就労者の一日

知的障害者のモデルケース

健康管理
利用者の血圧を測る。



清掃
浴室やトイレなどの清掃をする。



トイレ介助
車椅子でトイレまで連れて行き介助する。



洗濯
利用者の衣類やタオルなどを洗濯する。



URL <http://www.jprurs.co.jp>

■ 所在地：宇部市南浜町一丁目11番15

■ 電話番号：0836-34-5211

■ 常時雇用労働者数：23人

■ 障害者雇用数：1人

■ 障害者雇用の経緯・考え方



■ 障害者雇用推進の取組

平成21年4月～9月まで、障害者助成金受給（業務遂行援助者の配置助成金）を活用しました。
平成21年4月～10月まで、特定求職者雇用開発助成金第1期分を活用しました。

■ 雇用継続の取組

通勤の配慮として終業時間を30分早く、始業時間を30分遅らせています。

■ 独自の取組

平成20年10月、平成21年1月、山口県立宇部総合支援学校の職場実習を受け入れました。

上記は、原則として事業主から提出された認定申請書の記載内容となっています。

① 企業概要

物流に欠かせないパレットの レンタルからメンテナンスまで行う



同社では、主な業務としてレンタルパレット（パレット＝荷物の保管や輸送に使用される荷台のこと）の貸し出し、ハンドリフトやラックなど物流機器のレンタル・販売を行っている。

同社は、日本パレットレンタル株式会社（東京都中央区）の営業協力店として、宇部市矢矯地区に日本パレットレンタル株式会社宇部デポを構え、レンタルパレットの貸し出し、保管、メンテナンスを行っている。

中国地方、関西地区の酒造メーカー、食品メーカーなど、あらゆる業種のメーカーに利用されている。木製パレットだけでなく、最近は劣化の少ないプラスチックパレットの利用も増加している。

② 障害者の従事する業務の内容

修復不可能とされたレンタルパレットの解体や切断する業務を担当

同社では、1年前に知的障害者1名を初めて雇用した。採用前に養護学校に見学に行き、技術科目も受けていることを知り、仕事を任せられると感じた。面接や2週間の研修も経て、昨年3月に入社した。

仕事内容は、メーカーから返却されたレンタルパレットの中から、破損や汚れなどがあり再利用できないような基準外のパレットを解体する作業を担当している。木製パレットを機械で分解し、釘を抜いて切断し、かんなどで削るといった業務。分解した後、良質な木材が再利用できるかどうかの判断も行っている。



③ 職場内での工夫・改善点

危険が多い職場だからこそできるまで側について確認

最初は指示が理解できないことがあったので、実際に作業をやって見せて、その後は側で見守りながら一人でできることを確認するようにした。指示したことはしっかりとやっており、今では安心して任せている。

敷地内は大型トラックの出入りが激しく、レンタルパレットの解体業務は釘や刃物など危険が多いため、事故が起きないように注意する箇所をよく指導した。

入社当時、ひらがながあまり書けなかったが、作業内容を書く日報を提出してもらうため、ひらがなと算数のドリルを少しずつやるなどの努力もしてもらった。



作業内容を日報に書く

④ 就労者の一日

知的障害者のモデルケース

解体作業
修復不可能とされたレンタルパレットを機械で解体。



パンチ作業
木材に残っている釘を取り除く。



リッパー作業
木材をカットして形を整える。



プレーナー作業
かんなどで表面をきれいにする。



URL <http://www.ja-yckousei.or.jp>

■ 所在地： 山口市小郡下郷2139番地

■ 電話番号： 083-973-3286

■ 常時雇用労働者数： 829人

■ 障害者雇用数： 15人



■ 障害者雇用の経緯・考え方

JAグループの一員として、また公的医療機関としての社会的使命と捉えています。ただし、医師をはじめとした有資格者の集団で成り立つ側面より、実雇用に至るには困難を極めました。会議等での呼びかけからはじめ、障害者就職支援セミナー、行政との連絡会の参加等により雇用率をクリアすることができました。

■ 障害者雇用推進の取組

- ・ トライアル雇用の活用
- ・ 障害者作業施設設置等助成金の活用（身体障害者を雇用するにあたり、職員トイレの一部をバリアフリーにした。）…平成21年7月

■ 雇用継続の取組

- ・ 特別支援学校の公開授業及びセミナーに毎年参加し、進路担当教官に学生の紹介等助言を頂いている。
- ・ ジョブコーチ制度の利用

■ 独自の取組

- ・ 山口南総合支援学校の学生の職場見学を受入れ（平成22年1月）
- ・ 毎年、施設の清掃（草取り等）を障害者が働く企業へ依頼
- ・ 定期印刷物を障害者が働く企業へ発注

上記は、原則として事業主から提出された認定申請書の記載内容となっています。

① 企業概要

地域の目線に立った 医療・老人福祉サービスを提供



老人保健施設みのり苑

同連合会は公的医療機関として厚生労働大臣から指定されており、地域、特に農山村地域の方に健康で心豊かな暮らしを築いてもらうため、4つの医療施設、2つの老健施設、健診センターなどの施設を運営している。

- ・ 周東総合病院(柳井市)
- ・ 長門総合病院(長門市)
- ・ 小郡第一総合病院(山口市)
- ・ 老人保健施設みのり苑(山口市)
- ・ 介護老人保健施設ももとせ(下関市)
- ・ たきべ診療所(下関市)

② 障害者の従事する業務の内容

老人保健施設で洗い物や掃除など環境を整える業務を行う

山口市にある小郡第一総合病院の併設型施設「老人保健施設みのり苑」では、5年前から知的障害者の女性を雇用している。

業務の内容は、食事の際に利用者のお茶を用意したり、コップやスプーン、箸を洗ったり、ベッド回りや手すり、テーブルを拭いたりといった、利用者の身の回りの環境を整える仕事をしている。出勤したらゴミ集めから始まり、エプロンの洗濯、洗い物、清掃など、毎日行う仕事の種類は多い。最初は時間内にできなかつたり、混乱したりすることもあったが、現在はテキパキと素早く、決められた業務が行えるようになった。



③ 職場内での工夫・改善点

時間内で仕事が終わるように タイムスケジュール表で時間を明確に

当時、同施設では知的障害者の雇用は初めてで、どのような仕事ができるのか分からなかったため、最初はジョブコーチに入ってもらった。また、スタッフ同士で障害の勉強会を行ったり、仕事内容のマニュアルを作成したり、指導係のシフトを調整するなどの工夫をして、障害についての周囲の理解を深め、障害者が働くにあたって困らないように配慮した。

現在も行っている工夫として、時間内に仕事を終わらせるために、日々の仕事内容を書いたタイムスケジュール表を作成し、タイマーで常に時間を計りながら、かかった時間を記入するようにしている。最初は時間内に終わらなかったこともあったが、慣れてからはきちんと時間内に仕事を行っている。

タイムスケジュール表

④ 就労者の一日

知的障害者のモデルケース

テーブル拭き
食事の後にテーブルをきれいに拭く。



コップ洗い
入居者の使い終わったコップや箸を洗う。



手すり拭き
施設内の手すりを拭いていく。



洗面所洗い
各部屋にある洗面所をきれいに掃除する。



URL <http://obayashi-sangyo.com/>

■ 所在地： 山口市徳地八坂700番地

■ 電話番号： 0835-56-5005

■ 常時雇用労働者数： 78人

■ 障害者雇用数： 12人



■ 障害者雇用の経緯・考え方

関連会社で木材加工に従事していた障害のある方を平成20年1月、当社長沢工場の開設に伴い、雇用しました。仕事内容、工程が変わっても、指導により十分に仕事ができることがわかりました。

■ 障害者雇用推進の取組

- ・ 試行雇用(トライアル雇用)奨励金の活用
- ・ 特定求職者雇用開発助成金の活用

■ 雇用継続の取組

職業コンサルタントを配置し、るりがくえんの担当先生との連携を取りながら、定期的に面談をし、仕事や健康面、精神面の指導、相談に応じています。

■ 独自の取組

要請がある時には、山口総合支援学校、るりがくえん等の職場実習を受け入れています。

上記は、原則として事業主から提出された認定申請書の記載内容となっています。

① 企業概要

木材加工から住宅建築まで 木材の総合一貫メーカー



山口市徳地に本社を置く同社は、一般住宅の材料であるスギやヒノキの製材、原木の調達のための山林買い付け及び山林の伐出、木造住宅の設計・施工、内装・外装板の加工を行っている。木材の伐出から木材加工・住宅建築まで一貫して自社で行うことができる体制をとっている。木材の総合一貫メーカーとして、販売は南の沖縄から、東は東京まで、良質の山口県産材の普及に努力している。

平成20年1月に山口市鑄銭司に設置した長沢工場では、国産杉を使った大手ハウスメーカーのオリジナル耐力面材を製造している。

② 障害者の従事する業務の内容

杉板を重ねて貼り合わせる木材加工の業務に従事

同社で雇用している障害者のほとんどが長沢工場にて働いており、杉板を格子状に貼り合わせた耐力面材「クロスパネル」の製造に従事している。

木材の表面を平滑にするモルダー工程では、機械に木材をセットしたり、加工後の木材を積み上げたりしている。組立工程では、糊を付けた木材を数人でクロス状に重ねて貼り合わせる。決められたサイズにパネルをカットするテノーナ工程では、機械でカットしたパネルを積み重ねて、品質保証の判を押す業務を行っている。



③ 職場内での工夫・改善点

様々な工程に配置換えして各個人の適正を模索

長沢工場は、知的障害者の福祉施設「るりがくえん」のすぐ近くにあることから、同施設の知的障害者を多く受け入れている。仕事を任せてみて合わないと感じたら、様々なポジションに配置換えをして他工程での適正を模索する。各個人に合ったポジションを見つけて確定するまでに1年程度かかることが多い。

特徴的なのは、情緒不安定になったり体調が悪くなったりしたら、休憩や帰宅しても構わないという方針で働いてもらっていることである。無理矢理仕事をさせることで、働くこと自体が嫌いになってしまうように、各個人の体調やペースを尊重している。



慣れるまでは手取り足取り教える

④ 職場内を見学

モルダー工程
木材を機械にセットする。



組立工程1
木材に糊を付ける。



組立工程2
3人でクロス状に重ねていく。



テノーナ工程
規定のサイズにカットする。



URL <http://hagi-kagayaki.or.jp/>

■ 所在地：萩市大字椿3460-2

■ 電話番号：0838-24-4111

■ 常時雇用労働者数：288人

■ 障害者雇用数：9.5人



■ 障害者雇用の経緯・考え方

当法人の社会的貢献の取り組みのひとつとして、障害者雇用を行っていきたいと考えています。当法人の雇用ニーズと障害者の希望業務をお互い対等の立場でよく話し合い、一緒に検討し、良い結論を模索できたらと思っています。

■ 障害者雇用推進の取組

障害者の態様に応じた多様な委託訓練の活用
介護施設「おとすれ」での訓練
(平成21年9月8日～12月7日)

■ 雇用継続の取組

- ・ 障害者を雇用する上で、なるべく希望に合うよう勤務時間の配慮を行っています。
- ・ 相談担当職員を配置し、障害者が働きやすい職場づくりに努力しています。
- ・ 専門機関と連携し、障害者が勤務する上での悩み解決に努力しています。
- ・ 職員会議等に手話通訳者の参加を行っています。

■ 独自の取組

- ・ 障害者が働く施設へ清掃業務を委託しています。
- ・ 専門機関からの障害者紹介・支援から雇用に結びつくよう努力しています。

上記は、原則として事業主から提出された認定申請書の記載内容となっています。

① 企業概要

高齢者と障害者が安心して暮らせるよう 福祉施設と福祉サービスを充実



萩市楽々園

平成16年に設立した同事業団は、高齢者や障害者が住み慣れた地域でいつまでも安心して暮らせるような地域社会づくりを理念に、萩市内で特別養護老人ホームや老人保健施設、デイケアセンター、グループホーム、デイサービスセンター、訪問介護などの各種サービスを提供している。運営する施設は、「萩・福祉複合施設かがやき」「萩市楽々園」「萩市中津江・福祉複合施設なごみ」「萩市無田ヶ原口・福祉複合施設おとすれ」「萩市見島ふれあいセンター」「小規模デイホーム朝陽の家」「田万川うたたね」「萩市指月園」「萩市救護所」。

② 障害者の従事する業務の内容

特養での洗濯・清掃業務やデイサービスの介護業務に従事

「かがやき」では、聴覚障害者4名と精神障害者5名が働いている。利用者の身の回りの衣類を洗う洗濯業務や、施設内の清掃業務に従事している。

デイサービスを提供する「楽々園」では、ヘルパーの資格を持つ聴覚障害者1名が働いている。利用者の送迎、食事の配膳、入浴介助、レクリエーション時のサポートなどの介護業務に従事している。同施設には、利用者の中にも聴覚障害者がいることから、お互い手話で会話したり、レクリエーションの内容を手話で伝えたりと、聴覚障害の利用者にとってはコミュニケーションの架け橋としての役割も担っている。



③ 職場内での工夫・改善点

手話の勉強や手話通訳者の配置など 聴覚障害者のために職場環境を整える

同事業団で雇用している身体障害者のほとんどは聴覚障害者であることから、朝礼の時間を利用して一般職員も手話の勉強を少しずつ行い、職場環境の改善に努めている。また、聴覚障害者の職員が会議に出席する際には手話通訳者を参加させ、手話で通訳することでスムーズに内容が伝わるように配慮している。

「かがやき」では、洗濯室で働く聴覚障害者のために、人が来たら光って知らせるセンサー式のランプを設置している。「楽々園」で働く聴覚障害者は、利用者に身振りや筆談で伝えたり、声ではなく指で数を示したり、ちょっとした工夫を重ねて不便を感じさせないようにしている。



人が通ると光るセンサー式ランプ

④ 就労者の一日

聴覚障害者のモデルケース

送迎介助

車に添乗して利用者の送迎介助をします。運転して迎えに行くこともあります。



配膳

昼食の準備をします。トレーに置かれた名札を見て各利用者に配膳します。



レクリエーション

折り紙や塗り絵に誘ったり、一緒にトランプをしたり、利用者楽しく過ごしてもらえるようサポートします。



ミーティング

大事なことがスムーズに伝わるよう、手話通訳者をつけてミーティングを行います。



URL <http://www.chosyudori.or.jp/>

■ 所在地：長門市東深川1859-1

■ 電話番号：0837-22-2121

■ 常時雇用労働者数：457人

■ 障害者雇用数：9人

■ 障害者雇用の経緯・考え方

—

■ 障害者雇用推進の取組

平成21年12月～平成22年3月までに、山口県立西部高等産業技術学校の委託訓練を受け入れました。

■ 雇用継続の取組

- ・知的障害者にサポート担当者を配置しています。
- ・階段に手すりを取り付けたり、一部スロープにするなど職場環境を改善しました。

■ 独自の取組

—



上記は、原則として事業主から提出された認定申請書の記載内容となっています。

① 企業概要

長門近郊の自然の中で育った 「長州どり」を生産・流通



製菓部第1工場

同組合では、長門市を拠点にブロイラー(食肉用の鶏肉)の生産を行っており、種鶏の飼育から、加工、流通まで手掛けている。長門市近郊にある同組合の生産農家約40戸がブランド鶏「長州どり」を育てている。豊かな自然の中、徹底した衛生・管理システムで生産されたおいしく安全な鶏肉が特徴。

また、有精卵を活用して、新鮮な卵をたっぷり使った菓子製造も行っており、長門の銘菓「鶏卵せんべい」をはじめ、チーズケーキやバームクーヘンなども製造している。

商圏は広く、生肉は近畿まで、加工品は全国の手回りスーパー、製菓は県内や全国の生協でも販売されている。

② 障害者の従事する業務の内容

製菓工場で箱詰めなどの梱包・出荷業務に従事

製菓工場として機能する長門市東深川の製菓部第1工場に勤務する知的障害者の男性は、鶏卵せんべいをトレイに並べて箱詰めしたり、チーズケーキを型から取り出し、袋詰めをしたりといった、梱包・出荷業務に従事している。同工場には、鶏卵せんべい、バームクーヘン、チーズケーキの3つの製造ラインがあり、日によって業務内容は違う。

そのほかの部門では、肢体不自由者や聴覚障害者がプロイラーセンターで鶏肉の解体作業や種鶏場での管理といった工場業務をしている。



③ 職場内での工夫・改善点

勤務経験が長いことから特別扱いせずに仕事を任す

製菓工場で働く知的障害者の場合、最初はサポートする担当者を付けて、作業や周囲とのコミュニケーションをフォローしていた。10年前から勤務しており経験も長いことから、現在は他の社員と変わらずに仕事を任せている。現場では特別扱いせずに指示を出しているが、分からないことは責任者に聞くように指導している。

職場環境といったハード面では、過去、足に障害がある肢体不自由者のために、流通を担う小郡パックスセンター(山口市小郡船倉町)で階段に手すりを取り付けたり、一部スロープにしたりなど、障害の状態に応じて職場内の環境を改善している。



④ 就労者の一日

知的障害者のモデルケース

取り出し
チーズケーキを型枠から取り出す。



袋詰め
チーズケーキを袋詰めする。



箱詰め
エージレス(脱酸素剤)を入れて箱詰めする。



3つの製造ライン
製造状況に応じて、様々な業務をこなす。



URL <http://www.yamaguchi-nissan.jp/>

■ 所在地： 山口市大内御堀1220番1

■ 電話番号： 083-922-2200

■ 常時雇用労働者数： 383人

■ 障害者雇用数： 7人

■ 障害者雇用の経緯・考え方

—



■ 障害者雇用推進の取組

- ・ 特定求職者雇用開発助成金の活用
現在雇用中の障害者5名のうち、4名については3期分活用済み
- ・ 試行雇用奨励金の活用（1名について、トライアル雇用終了後、継続雇用中）

■ 雇用継続の取組

- ・ 障害者雇用納付金制度に基づく助成金の活用

■ 独自の取組

—

上記は、原則として事業主から提出された認定申請書の記載内容となっています。

① 企業概要

山口県内でも歴史あるディーラー 日産車だけでなく外車販売も手掛ける



同社は、1929(昭和4)年に創業。80余年の歴史を持つ山口県で最も歴史あるディーラーである。日産車の新車及び中古車販売、自動車整備、板金を行っている。そのほか、ルノー、ポルシェなどの外車販売も充実。2009年2月には、周南市久米店隣に全国初のミシュランガレージをオープン。同年4月には、アウディ山口をオープンし、新たな展開を見せている。世界1万社の日産ディーラーの中で、お客様満足度評価がトップレベルの会社でもある。

② 障害者の従事する業務の内容

洗車業務をメインに工場の清掃、整理整頓業務に従事

同社には、知的障害者、精神障害者、聴覚障害者、腎臓機能障害者など、様々な障害を持った人を雇用しており、県内の各店舗で働いている。

知的障害者の男性は、洗車業務をメインに、工場や廃棄物置場の清掃、備品の買い出し、廃タイヤの整理などに従事している。1日のほとんどは洗車業務にあたっており、日によって変わるが1日30台ほど洗車をこなしている。現在、試行期間ではあるが、車の運転ができるので納車時のスタッフの迎えにもチャレンジしている。



③ 職場内での工夫・改善点

完結できるだけの量を その都度指示するように配慮

知的障害者の男性の場合、一度に様々な指示を与えずに、一つひとつ完結できる作業量の指示を出すようにしている。また、作業内容をできるだけ具体的に伝えるように気をつけている。雇用してから約2年が経ち、仕事も手際よくこなしており、最近では自分から進んで洗車以外の仕事に取り組むこともある。

周囲と溶け込むのが難しいことに配慮して、責任者や他のスタッフから積極的に声をかけるようにしている。仕事上の話だけでなくプライベートの話もしながら、コミュニケーションを図っている。



④ 就労者の一日

知的障害者のモデルケース

洗車

お客様の車をシャンプーで丁寧に洗う。



洗車

手際よくシャンプーを水で洗い流す。



車内清掃

車内の砂やゴミをクリーナーで掃除して仕上げる。



廃タイヤの整理

タイヤをきれいに積み直す。



URL <http://www.fastretailing.com/>

- 所在地： 山口市佐山717-1
- 電話番号： 083-988-0333
- 常時雇用労働者数： 647人<11,465人>
- 障害者雇用数： 12人<922人>



■ 障害者雇用の経緯・考え方

- ・ 経営者のコミットメント→1店舗1名、障がい者のスタッフを採用する
- ・ 店舗の执行力→現場の風土、店長が採用・育成、店舗スタッフに気配り・目配り・心配りが身に付く
- ・ 店舗の環境や職域のマッチング

■ 障害者雇用推進の取り組み

- ・ ハローワークの専門援助部門と求人部門との連携
- ・ 地域の障害者職業センター、就労・生活支援センターなどの支援機関との連携
- ・ 面接から同席のお願い→職務試行法、雇用前ジョブコーチ支援事業などの実習を実施し見極め→採用
- ・ 特定の障がいでトライアル雇用が必要とされる場合はトライアル雇用することもある
- ・ 毎月採用可能店舗を本部で抽出し採用へのサポートの徹底
- ・ 障がい者雇用の特集の小冊子の発行と好事例の共有（考える人・服のチカラ）
- ・ 新人店長研修で障がい者雇用のリマインド教育
- ・ SVガイドブック、店長マニュアルで障がい者雇用推進の方法の共有

■ 雇用継続の取組

- ・ エラー案件は初期の段階で各支援機関から専門的なアドバイスや面談の立会いのお願い
- ・ 雇用後の勤務エラーや職域の拡大の場合ジョブコーチ制度の積極的活用
- ・ 業務遂行援助者の配置助成金の活用に本部より現場への業務日誌による適切な指導と助言
- ・ ホットラインなどの社内相談窓口の設置による不応やエラーの早期発見と対策
- ・ 褒める文化の徹底（サンキューカードの活用）
- ・ 半年毎の面談による傾聴と良いところを褒めて育成推進のサポート

■ 独自の取組

- ・ 平成20年5～6月、9月～10月に、宇部総合支援学校を始め全国約50校の職場体験実習を受入れた
- ・ 弊社発行の障がい者雇用の小冊子（考える人、服のチカラ）の店頭での配布
- ・ 高齢・障害者支援機構主催のイベントでの障がい者雇用の講演をはじめ都道府県、市町村、労働局、雇用開発協会のイベントでの講演やパネリストとしての参画
- ・ 他企業や大学での情報交換や講演
- ・ 東京都保健福祉局の障害者就労支援協議会の委員

上記は、原則として事業主から提出された認定申請書の記載内容となっています。

① 企業概要

世界に展開するアパレル企業グループ
 全社的に1店舗1名以上の障がい者を採用



ユニクロ店舗(宇部清水川店)

カジュアルウェアブランド「ユニクロ」を中核として、日本市場だけでなく、世界市場で事業を展開するアパレル製造小売企業グループ。事業の中心であるユニクロは、日本全国で770店舗、海外で91店舗を展開している。

同社では、「1店舗1名以上、障がいのあるスタッフを採用する」を目標に、障がい者雇用に取り組んでおり、ユニクロ全社の障がい者雇用率は法定雇用率の1.8%を上回る8.04%(2009年6月現在)となっている。山口県内の店舗は、全店で知的障がい者を雇用している。障がい者と健常者が同じ職場で働くことで、店舗スタッフ同士のチームワークの向上や顧客サービスの向上にもつながっている。

② 障害者の従事する業務の内容

店舗スタッフの一員として商品陳列、清掃、商品補充などを行う

全国の店舗では、知的障がい者、精神障がい者、肢体不自由者、内部障がい者、聴覚障がい者、視覚障がい者と様々な障がいを持つ人が働いている。業務内容は、商品陳列、清掃、バックルームの商品整理などで、店舗スタッフの一員として働いている。働き方はケース・バイ・ケース。能力に応じて裾上げ補正やレジ業務を任せられる場合や、一般のスタッフとほとんど変わらず仕事をこなす人もいます。

ユニクロ宇部清水川店(宇部市)の場合、知的障がい者の女性が働いている。トイレ掃除、店内の掃除・モップがけ、バックヤードでの商品整理、開店後にはお客様の出迎えなどを行っている。



③ 職場内での工夫・改善点

スタッフに障がい者が加わることで結果としてサービス向上につながる

同社では、障がい者だからといって特別扱いするのではなく、他のスタッフとチームで働いてもらうことを原則にしている。固定観念にとらわれず「できる人ができる仕事をする」という意識を持ち、障がいのあるスタッフ自身にも「できること」からはじめてもらうことが大切である。

障がい者雇用がもたらす好影響も見られる。スタッフの中に障がい者が加わることで、思いやりの気持ちや、一緒に仕事をしていこうとする姿勢が自然に生まれ、その配慮や気遣いが、お客様へのサービス向上につながっている。店舗スタッフは、元々、お客様への「気配り・目配り・心配り」を意識するようにしているが、障がい者と働くことでよりサービスの本質を認識でき、接客に生きてくる。



スタッフとのコミュニケーションも円滑
チームワーク向上につながる

④ 就労者の一日

知的障がい者のモデルケース

トイレ掃除

約1時間かけてトイレをピカピカにする。同社では掃除を特に重視している。



モップがけ

開店前、店内の床をモップがけする。併せてゴミ拾いも行う。



朝礼

朝礼では、売上金額の確認、日々の注意点、スタッフへの指示などが伝達される。



商品整理

バックヤードで商品を袋から出したり、ハンガーにかけたり、商品整理を行う。



やまぐち障害者雇用推進企業認定制度

県内の企業や県民の皆様には障害者雇用への理解と関心を深めていただき、障害者雇用がさらに進んでいくように、障害者の雇用に積極的な企業を「やまぐち障害者雇用推進企業」として認定し、県のホームページなどで広く紹介する制度です。

■認定のメリット

企業の社会的責任や法令遵守の姿勢が注目されている中、推進企業の障害者雇用に対する積極的な姿勢をアピールすることができるよう、応援します。

●推進企業の取組を紹介

推進企業の企業名を障害者雇用の取組とともに県のホームページ等で、広く紹介します。

●シンボルマーク・名称の使用

企業のパンフレット、封筒、名刺などに、シンボルマークと「やまぐち障害者雇用推進企業」の名称を使用することができます。



●入札参加者指名制度の評価項目に採用

業務委託契約（建設工事以外）の指名競争入札において、追加指名をする際の評価項目になります。

●ハローワークの求人票に名称表示

求人票の備考欄に「やまぐち障害者雇用推進企業」と記載することができます。

■認定の要件

山口県内に主たる事務所を有する企業のうち、次の3つの要件のいずれにも該当するものが認定対象となります。

詳細については、下記にお問い合わせください。

なお、この認定制度は、企業を対象としていますので、支店等からの申請はできません。

要件① 障害者雇用数

法定雇用障害者数を超過して雇用していること

要件② 障害者雇用の取組

- ・ 障害者の雇用を推進する取組（奨励金等の活用など）
- ・ 障害者の雇用継続に向けた取組（勤務時間の配慮など）
- ・ 障害者支援の独自の取組（職場見学、職場実習の受入など）

要件③ 法令遵守

■問い合わせ先

山口市滝町1番1号（〒753-8501）

山口県商工労働部労働政策課 働きやすい環境づくり班（県庁8階北側）

電話 083-933-3221（直通）、FAX 083-933-3229

E-mail : a15900@pref.yamaguchi.lg.jp

山口県障害者雇用好事例集

●
平成22(2010)年3月

●
発行 山口県商工労働部労働政策課
〒753-8501 山口県山口市滝町1-1
TEL 083-933-3221 / FAX 083-933-3229
E-mail a15900@pref.yamaguchi.lg.jp

●
編集 株式会社マルニ
〒753-0037 山口県山口市道祖町7-13
TEL 083-925-1111 / FAX 083-920-5111

